

相互鑑賞をしよう！

科目：生活の書（学校設定科目）

対象：1～4年、社会人

～はがきサイズの創作作品の相互鑑賞を行う～

☆ねらい☆

- ・年齢や経験が多様なため、技術や授業に対する姿勢について個人差が大きい。
- ・自分の思いを言語化したり、他者とコミュニケーションしたりすることが苦手な生徒が多い。
- ・自己肯定感が低く、自分の作品に対して否定的な意見を持つ生徒が多い。

互いの作品を鑑賞しあう・作品に対する思いを言語化する

- ・他者の作品に根拠を持って感想を述べることができる（知識・技能）
- ・他者の感想を読んで、表現方法と与える印象の関係について考えることができる（思考力）
- ・自他の作品の良さや他者の鑑賞の視点の良さに気づくことができる。（学びに向かう力・人間性）

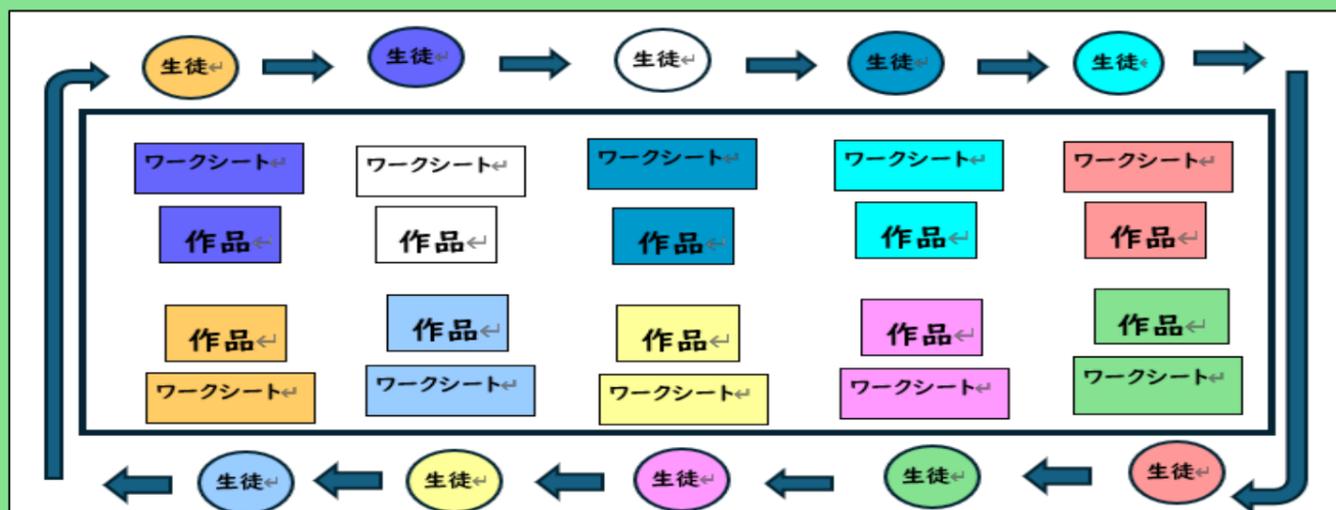
多様な相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりしながら問題解決に向かう姿勢が育つ

☆授業の概要☆

《授業の流れ》

- ① 作者がワークシートに 自分の名前、制作意図 を書き、作品と共に机の上に置く。
- ② 5 分間の自由鑑賞
- ③ 筆記用具を持ち自分の作品から時計回りに一つ隣の作品の前に立つ。
- ④ 目の前の作品についてコメントと自分の名前 を書く。(3 分間)
- ⑤ 3 分ごとに《配置図》の順に移動。
- ⑥ 一周したら、ワークシートを持って自席に戻り、鑑賞後の感想 を書く

《配置図》



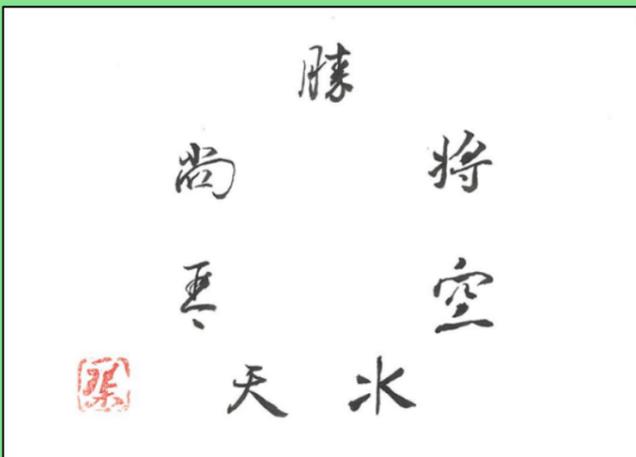
《ワークシート》

「ここが見せ場！」
「ここをがんばった！」を書こう！
自分の作品への思いを言語化

「〇〇だから□□だと思った」
など理由を書こう！
線質、字形、構成に注目

「他の人の作品を見た感想」
「コメントを読んだ感想」を書こう！
自分の表現方法が与える印象は？

《生徒作品とワークシート記載内容例》



《製作意図》

「家に飾りたい作品」ということで、家族の一文字ずつをとって書いた。家族に自分の字はどんな字体がいいか聞いて、個性が出て、かつまとまりができるように配置に迷いながら完成させた。

《他の生徒のコメント》

- ・一文字ずつ字体が違うところで家族の個性を出していると思う。
- ・円になるような配置が団欒の様子を表していると思った。
- ・輪にしたことで温かさや優しさが出ていると思う。
- ・手をつなぎあっているようで家族の信頼の輪と優しさが伝わってくる。

他の生徒からのコメントを
読んで、自分の作品の良さを
確認！

《鑑賞後の感想》

- ・仲の良さが伝わったようで嬉しかった。
- ・円にしたのが、「優しさ」「仲の良さ」「楽しさ」に結びつくのは新しい気付きだった。

☆成果と課題☆ (△成果, ▼課題)

△コメント用紙に書き込むことで、言語化が苦手な生徒は、他の生徒のコメントをモデルにして書くことができた。

△他者からのコメントで、自分の思いを受け止めてもらえたことを知り、自信を持って次の作品制作に生かしたいと感想を持つ生徒が増えた。

△時間制限を設け、全員が一斉に書くことで集中して取り組むことができた。

▼制作意図を読むことで、「作品自体」ではなく「書かれた文章」により印象が操作される傾向があった。段階的に制作意図を隠して鑑賞をし、制作意図を当てるなどの工夫が必要だと思われる。